

# ベテラン団員へのインタビュー

町消防団は、1月3日にまなびの郷で出初式を開催しました。参加した110人は、町民の安全と安心を守り抜く決意を新たにしました。また、式典では、消防団員として功績のあった34人が県消防協会長、県消防協会紀南支会長、紀宝町長から表彰を受けました。

今回は、長年にわたり活動に尽力されている3人の団員に、喜びの声をうかがいました。



紀宝町長表彰

三重県消防協会長表彰

紀宝町長表彰

永年勤続功労賞(30年)  
(第3分団平尾井班)

なか かずお 部長

まだまだ第一線で活躍していきたいです

功績賞  
(第1分団神内班)

たの ゆうじ 分団長

安心・安全なまちを目指してがんばります

永年勤続功労賞(30年)  
(第1分団井田班)

うぶ やしき みちひろ 部長

地域貢献できるようがんばっていきたくです

長い消防団活動の中では、火災消火のほか、行方不明者の捜索など、さまざまな経験をしました。中でも、阪松原の山火事では、地元勢として2日間徹夜で消火にあたりました。真っ暗闇の中、20kgのタンクを背負って、歩き回りました。火のついた切り株や大きな岩が転がってくることもあり、大変危険な状況でした。

また、紀伊半島大水害では、相野谷川が氾濫し、団員が孤立して連絡が途絶える中、住民の避難誘導や救助に尽力しました。

現在は後進に指導しながら、まだまだ第一線で活躍していきたいと思っています。

独立したことをきっかけに、地元で恩返ししたいと思い入団しました。

1番記憶に残っているのは、やはり紀伊半島大水害です。当初、神内では雨があまり降っておらず、被害の大きい相野谷地区の応援に駆け付けていました。ボートで救助された住民をふるさと資料館へ運搬していましたが、相野谷と神内を結ぶ県道で土砂崩れが起こり、一歩間違えれば命を落とす危険な状況でした。

このような経験があったからこそ、団員の命を預かる立場になった今、「活動時には何より自分自身の命を大切に」と団員に伝えています。

入団後30年経ったという実感はなく、あつという間に感じています。新人のころに製材所で火災が発生し、火の勢いが激しい中、右往左往したことや、阪松原の山火事の消火活動が想像以上に大変だったことが今でも脳裏に浮かびます。

紀伊半島大水害のときは、井田地区は比較的被害が少なかったのですが、普段は浸からない場所が浸水したため、住民に避難を呼びかけに走り回りました。現在は世代交代を図りつつ、「少しでも地域貢献できるようにがんばっていきたく」との思いで、日々の消防団活動に励んでいます。

火災から自分や家族の命を守るために

## 設置していますか？住宅用火災警報器

昨年、住宅火災で亡くなった方の原因は、病気などで体が不自由なために逃げ遅れたり、熟睡していたために逃げ遅れたりするなど、全体の半分以上が「逃げ遅れ」です。また、住宅火災で亡くなった方の約7割は65歳以上の高齢者です。

火災が発生したときに警報音で知らせてくれる住宅用火災警報器を設置することで、火災に早く気づき、逃げ遅れを減らし、命を守ることができます。また、住宅用火災警報器の設置は義務化されています。自分や家族の命を火災から守るために、設置していない家庭は、早急に設置しましょう。

### ◆設置箇所

設置が義務となっているのは

◎全ての寝室

◎階段（1階以外に寝室がある場合）

台所には設置の義務はありませんが、火災の早期発見につながります。

### ◆いのちを守る 10のポイント

- 1 寝たばこは、絶対しない
- 2 ストープの周りに燃えやすいものを置かない
- 3 ガスコンロなどを使うときは火のそばから離れない
- 4 コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く
- 5 ストープやガスコンロなどは安全装置の付いた機器を使用する
- 6 住宅用火災警報器を設置し、定期的に点検・交換をする
- 7 部屋を整理整頓し、衣類やカーテンなどは防災物品を使用する
- 8 消火器を設置し、使い方を確認しておく
- 9 避難経路を確保し、避難方法を確認しておく
- 10 地域の防災訓練などへ参加する

▶詳しくは、熊野市消防本部予防課（☎0597-89-0994）または紀宝分署（☎32-4545）までお問い合わせください。

### 春の火災予防運動が実施されます

## 冬から春は火事発生の危険性が高い季節です

冬から春にかけて、山や田畑では枯れ葉や枯れ草が多くなることに加え、空気の乾燥やフェーン現象などから、火事発生の危険性が高くなる季節です。山火事や田畑での火事を起こさないために火の取り扱いには気をつけましょう。

### ◆春の火災予防運動

3月1日から7日まで、「おうち時間 家族で点検 火の始末」をスローガンに春季全国火災予防運動が実施されます。

私たちの大切な命、財産を失わないために、火災を発生させないよう注意しましょう。

### ◆山火事・田畑での火事を防ぐ6つのポイント

- 1 野焼きはしない
- 2 枯れ草のある場所など、火災の発生しやすい場所では、たき火をしない
- 3 たき火など火気の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火する
- 4 強風時や乾燥時には、たき火などをしない
- 5 たばこは、指定された場所で喫煙し、吸い殻は必ず消し、投げ捨てない
- 6 火遊びはしない

